



人権擁護委員 神戸地方法務局感謝状授与

人権擁護委員として、人権擁護と人権啓発に取り組んでこられた多年の功績が称えられての感謝状贈呈となりました。



(右) 衣笠 哲元さん (北条町)
令和2年7月1日～令和5年6月30日
(左) 山本 純子さん (中富町)
令和2年7月1日～令和5年6月30日

先祖供養 五百羅漢で「千灯会」

8月8日、羅漢寺で、薬師如来の縁日である千灯会が開催されました。石仏群は、ロウソクの灯りで優しく照らされ、子どもたちは「きれい」と見入っていました。また、会場内では市内の活動団体によるミニコンサートも行われ、訪れた人たちは足を止め、合唱やハーモニカの音色を楽しみました。



高齢者夫婦の笑顔、写真に収め65年

加西市社会福祉協議会の敬老福祉月間記念行事として、高齢者夫婦記念撮影が、STUDIO 栄光社協力のもと実施されました。昭和34年からボランティアで撮影してこられ、今回で2901組となりました。撮影された宮本博文さんは「皆さん笑顔が素敵。元気が一番です」と話しました。



夏がきた！北条鉄道 カブト虫列車運行

カブト虫列車が7月15日、16日に運行され、2日間で約320名が乗車しました。車内では、北条高校と播磨農高の生徒らとカブト虫にまつわるクイズ大会を楽しみました。イベントの最初には、参加者全員にカブト虫がプレゼントされ、村上典さん(5歳)は、「うれしいです。カブト虫を頑張っ



広島を知る 参加生徒「衝撃的でした」

市は8月4日、市内中学生を対象にしたバスツアーや講演会などの平和事業を実施しました。平和記念公園内にある原爆ドームや原爆の子の像を間近に見た後、死没者慰霊碑の前で手を合わせました。また、平和記念資料館では被爆者の講話を聴き、その後資料館へ移動。参加者のひとり「原爆の恐ろしさを改めて実感しました」と話しました。



国際交流夏祭り なつのゆうべを開催

7月16日、NPO法人ねひめカレッジが国際交流夏祭り「なつのゆうべ」を行い、9カ国・総勢約70名が加西熱気球サポータークラブによる熱気球搭乗体験や北条高校生によるゲームなどを楽しみました。



西在田小3年 地域の畑でフジバカマ植栽

西在田小学校3年生は、長距離移動する渡りチョウとして知られるアサギマダラを呼び込もうと、アサギマダラが好む花である「フジバカマ」約100株を虹の郷にしありたが所有するハーブ園に植え付けました。児童らは、「飛来してきてくれたらうれしい。見たことがないので楽しみです」と秋に飛んでくるのを心待ちにしていました。



下里小2年 新遊具のアイデアをプレゼン

下里小学校2年生は、STEAM教育の一環として、「こんな遊具がほしいな」をテーマに、5つの班に分かれて考えた案をオンラインで市教育委員会に発表しました。垣田心湊さんは、迷路やブランコなどを組み合わせた遊具を考え、「みんなで楽しみたいと思って作りました」と制作への思いを話しました。



第73回 “社会を明るくする運動”

7月5日、「第73回社会を明るくする運動」のオープニングセレモニーがアステアかさいで開催されました。保護司会加西分区や更生保護女性会、地区推進委員、市など約90名が坪山健一氏によるサクソコンサートや啓発ビデオの鑑賞など、社明運動強調月間に向けた啓発を行いました。



命について学習 オリジナル太鼓完成

小学生を対象に、命を学ぶ人権学習として、善防公民館で牛の革を使った太鼓作り教室が開催されました。25組が参加し、オリジナルの太鼓を作りました。講師の「十八代目太鼓屋六右衛門」杉本大士さんからは、太鼓作りを通して、命の尊さや感謝の気持ちの大切さなどを教えていただきました。



宇仁小 プロの職人に学ぶ“ものづくり”

7月20日、宇仁小学校で4～6年生を対象に「ものづくり実演&体験教室」が開催されました。石材加工、表装、かわらぶき、写真の4職種の技能士から職人技を学び、表装づくりに挑戦した児童は「柄を合わせるのが大変でした」と話しました。児童たちは、ものづくりの難しさや面白さを味わいました。



新園舎完成！ 泉学童保育園竣工式

7月15日、泉学童保育園の竣工式を開催しました。入園希望者の増加に対応するため、旧幼稚園を取り壊して新たに園舎を建設しました。学童代表の高崎怜那さんは「先生や友達と一緒にたくさんの思い出をつくりたいです」と挨拶しました。新園舎は夏休みから1～4年生の39人が利用しています。

